

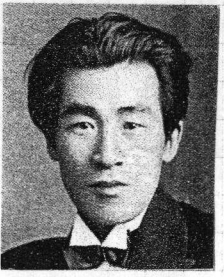
田郷虎雄 小説家、明治二十四年五月、二十五日長崎縣生れ、昭和二十五年七月十一日歿（一九〇一—五五）。長崎師範學校卒。小學校教員を経て昭和二年上京。六年雜誌『改造』の應實創作に戯曲「可成」の著選、劇作家生活。

著書 『國民娛樂脚本集』（合著、第一輯・昭和十五年一月）『國民精神總動員中央聯盟編刊、第一輯・十月）』『國民精神總動員本部編刊、戯曲集『櫻鈴子』（昭和十五年十一月）』『洛陽書院「開拓文藝叢書」』（『素人演劇講座』（合著・池谷作太郎編、昭和十六年九月）』『七七日本文化中央聯盟』（脚本集『峠の茶屋』外一篇）

（青木清江合著、昭和十七年五月）『大日本産業報國會「職場の演劇」』（『秋晴れ』素人演劇脚本集』（合著・池谷作太郎編、昭和十七年十月）』『日本移動演劇聯盟編、昭和十七年十一月）』『協榮出版選』（合著・日本移動演劇聯盟編、昭和十七年十一月）』『協榮出版選』（合著・日本移動演劇聯盟編、昭和十七年十一月）』『短篇劇名』

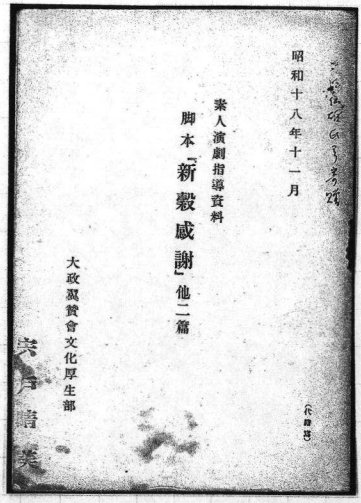
版社）、『少年國民演劇脚本集』（合著・産業組合中央會家の光部、中島寅之助編、昭和十七年十一月）』『上場演劇脚本集』（合著・園池八功編、昭和十八年一月）』『協和書房』（『入坂支那の妻』涙袖帖』（昭和十八年五月）』『協和出版協會』（『標木』（昭和十八年七月）』『協和出版協會』（『脚本「新穀感謝」他二篇』（早

田村 光雄 合著、昭和十八年十一月代慶寫・大政翼賛會文化厚生部



田村 光雄 合著、昭和十八年十一月代慶寫・大政翼賛會文化厚生部
素人演劇指導資料

料）、『嵐』の來た女』（昭



素人演劇指導資料
脚本「新穀感謝」他二篇
昭和十八年十一月
大政翼賛會文化厚生部

和二十一年五月五日大阪・日本出版社「日本文學選集」()、
日双葉文
美寫』(昭和二十一年六月)二十日大阪・昭和出版株式會社()、
日學校
劇のあらう方』(昭和二十五年十月)日會話春秋社「中學生の文藝教
室」()等。